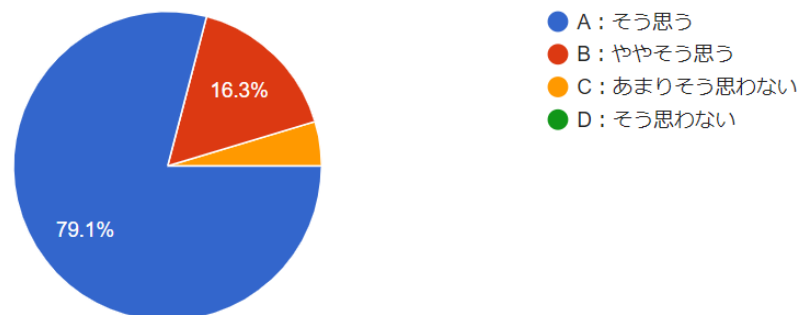


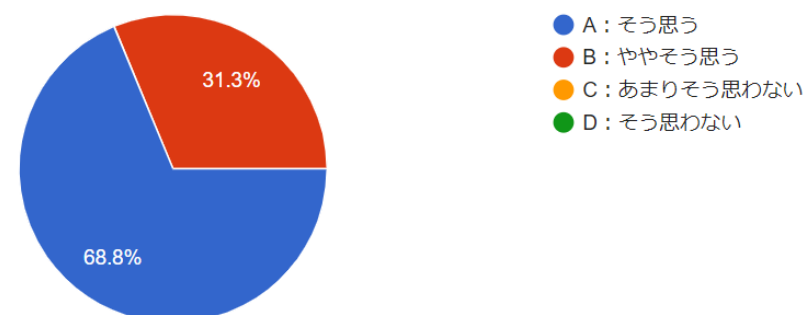
ICT 機器の使用やオンライン学習に関する児童・保護者アンケート結果

1、学習の目的に応じて ICT 機器を使うことができる【児童】

2020 年度前期



2020 年度後期



2、オンライン学習についての保護者の意見

- ・対面授業と引けを取らない内容（同等）になっているのか。オンラインの良い面もあると思っているので、グローバルならではの存分に出してほしい。
- ・オンライン授業になると仕方ないのですが、視力低下中です。先生方には、色々とお気遣いいただいておりますが、とても心配しています。視力検査の結果をみると、全体的な傾向のようです。勉強も大事ですが、一度視力が落ちると戻りません。
- ・オンラインだとどうしても受け身になりがちなので、夏休みのリサーチ課題のような、考えたり自分の意見をまとめたりする課題や、ブレイクアウトセッションでの話し合いの時間が多くあればいいなと思っています。一方で G クラスはどうしてもデバイスを使用する時間が長いので、目を休められるような工夫があると有難いです。
- ・オンライン授業がなければ、進み具合などに影響があるし、先生や他の生徒とのインターアクティブなやり取りができる唯一のツールなので、仕方がないかとは思いますが、画面を見続ける事での目への影響等が少し心配です。
- ・先生方にご配慮頂き、楽しくオンライン学習ができていると思います。
- ・今回、グーグルクロムを貸し出して頂き、使い易くより学習しやすいようです。授業もオンラインに対応した教材作りをして頂き、充実した授業を受けられています。しかし、全体的に授業時間数の不足による定着率低下が心配です。
- ・オンライン化に伴い、英語を使う授業が減り、そこが特に残念でした。また、全体的な授業数も少なく、ハイブリッドでの授業期間のテスト方法についても、効率的でないように感じました。オンライン授業の予定が、直前に内容変更になる事もあり、オンライン学習の大変さを感じました。
- ・この様な世の中での状況のなか、柔軟に対応していただきありがとうございます。オンライン授業は自宅での学習となり気持ちも時間もルーズになりがちかと予想していましたが、本人なりに時間やルールを守りながら授業を受け続けることが出来ていたと思います。

